

地域おこし協力隊通信

地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化等の進行する地域に都市部の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行うことで、地域の活性化を図る制度です。

市内のにぎわいづくりをミッションとしている鈴木祐磨隊員の活動を報告します。

石橋複合施設の仮囲いで写真展を実施！

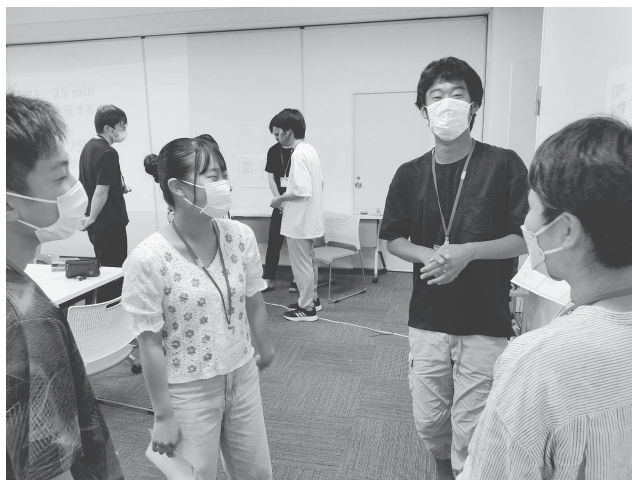
今年の12月にオープン予定の石橋複合施設。工事中の仮囲いを活用し、「シモツケ大学まちなか掲示板」を期間限定で設置しました。

掲示板では、使い切りフィルムカメラで石橋の日常を切り取った「まちあるき写真展」、高校生が撮影した「石橋高校写真部写真展」、石橋地区の昔懐かしい写真を集めた「石橋公民館とこの街の思い出mini写真展」などを開催しました。

こういった資源を、行政だけではなく市民の皆様と一緒に有効活用していければと思っています。



高校生地域定着事業「もしもプロジェクト」始動!!



第1回 もしもを考える

地域への愛着醸成のために、高校生地域定着事業を令和2年度より実施しています。

3年目となる今年は「高校生もしもプロジェクト」。高校生が自分の興味ややりたいことを深掘りし、下野市を舞台に叶えていくプロジェクトになります。

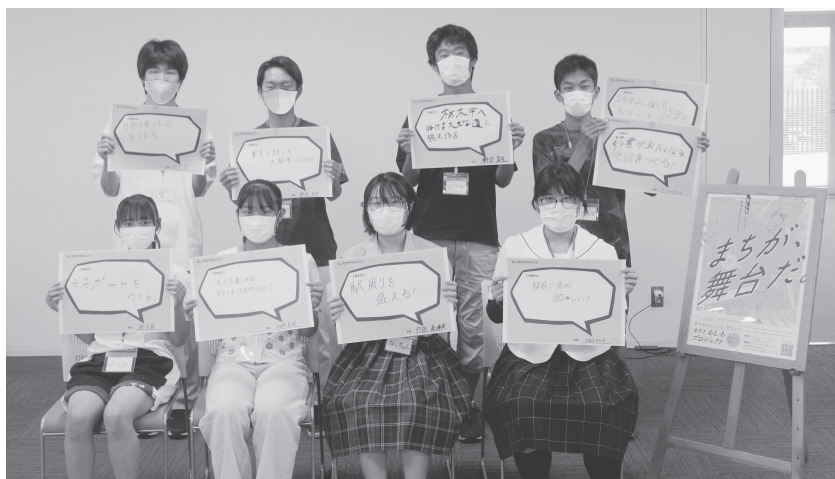
第1回目のワークショップは7月3日に下野市役所で実施。「もしもこんなことができたなら」「もしもこんなものがあったら」と、8名の高校生と地域の大人サポーターがこのまちで叶えたい純粋な想いを発表しあいました。

サポーター募集中

次回以降、考えたアイデアを具体化し、チームで実現させていきます。

どんなアイデアが出てくるのか…、楽しみで仕方ありません！

高校生の「やりたい」を叶えるために、地域の皆様のお力をお貸しいただきたいです。ぜひ私たちと一緒に、高校生の応援をよろしくお願いいたします！



■問い合わせ先 総合政策課 ☎(32)8886